

タイトルロゴからGIFアニメーションまでこれ1本でOK!

Photo: Nakamura Tohru

ホームページ用 画像作成ソフト 購入ガイド

ホームページ用画像作成ソフトとは、タイトルやボタン、背景、GIFアニメーションなど、ホームページで使う画像の作成に特化した機能を持つソフトのことだ。ホームページで使う画像には、印刷して使う画像とはまた違った条件が要求され、さらには、クリックブルマップなどの機能的な処理も必要となる。今回は、続々と登場するホームページ用画像作成ソフトの特徴と選び方のポイントを解説しよう。 塩田紳二

専用ソフトが続々登場

ちょっと前まで、ホームページ作成に利用する画像ソフトは、いわゆるペイントソフトと呼ばれるもので、求められる機能は、GIFファイルの透明化ができる、インターレース表示フォーマットに対応している、JPEGファイルが扱えるという程度のものであった。こういったペイントソフトに加えて、アニメーションGIFを作成するソフトやクリックブルマップを作成するソフトなどを別途用意して、何本かのソフトを組み合わせ、ホームページ用の画像を作っていた。ま

た、今までは画像の一部を作り直そうとしたら素材の段階にまで戻って修正が必要だった。しかし、最近ではこれらの問題を解決するために、ホームページで使う画像を作成するのに特化した機能を持ち、修正も容易な専用のソフトが登場してきた。今回は市販の画像作成ソフトのうち、ホームページ作成をターゲットにしているものを選んで、選択のポイントや各ソフトの評価を行った。購入する際の参考にしてほしい。

ホームページ用画像作成ソフトはここが違う！

これまで、ホームページで使う画像の作成には主にペイントソフトが利用されていた。しかし、多くの人がホームページを持つようになった今、ホームページ作成は1つのジャンルとして認知されるようになり、ホームページ用画像専用の作成ソフトが登場しはじめた。これらは従来のペイントソフトとどこが違うのだろうか？

文字や図版を自由に変更・加工できる

ホームページ用画像作成ソフトには大きく分けて2つの種類がある。1つは、ホームページ専用の画像作成ソフトとして設計されたものだ。これらは、編集段階ではドローイングソフトのように文字や図版を「部品」として扱えるものがほとんどだ。たとえば、今までのペイントソフトでは、デジタルカメラから取り込んだ画像に文字を入力したら、あとから文字の変更や加工はできなかった。しかし、専用ソフトでは、文字を画像とは別の「部品」として扱っているため、いつでも文字を変更したり、加工したりできる(1)。

もう1つは従来からあるペイントソフトや描画ソフトにホームページ用の画像を作成する機能を追加したものだ。こちらも文字や図版を部品のように扱う機能を持つものもあるが特に細かい描画や多彩な画像処理が特徴になっている。

サイズの小さな高品質の画像が作れる

ファイルサイズを小さくする最も簡単な方法は画像の色数を制限する、圧縮率を高くするという方法だ。ただし、この方法では画像の品質も劣化してしまうため、単純に圧縮率を上げればよいというものではなく、画像の品質とサイズのバランスを考える必要がある。専用ソフトでは圧縮率などを変化させながら画像を表示でき、品質の確認が容易にできるものが多い(2)。

さらに、最近では1枚の画像を複数に分割することで、全体のファイルサイズを小さくしたり、表示速度を高めたりする方法が使われ始めている。この方法では複数の画像ファイルにすることで、画像ファイルの転送を並行して行えるため、画像の表示が完了するまでの時間が短縮できるというメリットもある。専用ソ

フトなら、従来のペイントソフトでは面倒な画像の分割も、簡単に任意の場所で分割でき、さらに、自動的にそれらを組み合わせるためのHTMLファイルも作成してくれる。

HTMLの自動作成ができる

前述の画像の分割では分割した画像を配置するためにHTMLを使って表示位置などを指定する必要があるが、専用ソフトでは、分割と同時に配置のためのHTMLを自動的に作成してくれる(3)。

このほか、専用ソフトの中にはマウスの動きに反応して動くボタンを作ると、画像だけで

なく、その動きを指定するスクリプトを含んだHTMLを自動的に作成する機能を持つものがある。

アニメーションが作成できる

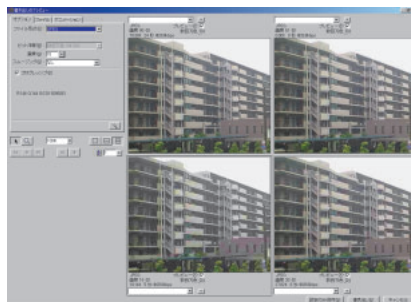
GIFアニメーションは最も手軽に作れるアニメーション画像だ。これまではペイントソフトでコマとなる画像を何枚か作成して、それを専用ツールでGIFアニメーションに変換していた。しかし、専用ソフトではアニメーションの最初と最後のコマになる画像を用意すれば、あとはソフトが間のコマを自動的に作成し、GIFアニメーションとして保存してくれる(4)。

①



アドビのImageStylerの画面。ボタンとボタンの上の文字が「部品」になっている。

②



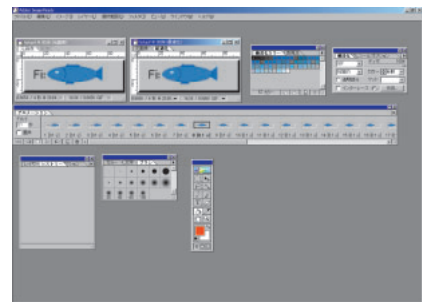
マクロメディアのFireWorksの画面。4分割された画面にそれぞれ圧縮率の違う画像が表示される。比較しながら最適な圧縮率を決められる。

③



マクロメディアのFireWorksの画面。黄色い線で区切られている部分がスライスされているところ。スライスの部分は任意に決められる。

④



アドビのImageReadyの画面。「トゥーン」という機能を使えば、アニメーションのコマを自動的に作成してくれる。



ホームページ用 画像作成ソフト選びのチェックポイント

ホームページ用画像作成ソフトには高性能な描画機能をベースにしたものからホームページ用の機能を盛り込んだものまであり、それぞれに特徴がある。そのなかで、いったいどれを選択したらいいのだろうか？ ここで、その選び方のいくつかのポイントを解説しよう。

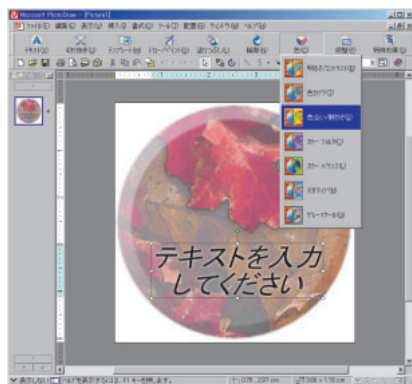
ホームページを頻繁に更新するか

ホームページを頻繁に更新するなら、アドビの「ImageReady」やメガソフトの「プレスト! フォトパーフェクト」のように作業の自動化ができる高機能なソフトを使って効率を上げるべきだ。しかし、更新が半年に1回、あるいは気が向いたらといった程度なら、高価なソフトはムダだし、たまにしか使わないソフトなら操作が単純なほうが憶えやすい。マイクロソフトの「PhotoDraw 2000」のように、メニューのアイコンを見ただけでどのような効果が得られるのが直感的に分かる、操作の単純なものを選んだほうがよいだろう(1)。

ほかの描画ソフトを持っているか

使い慣れているペイントソフトがあるのなら、それを使ったほうが作業が速いかもしれない。しかし、作る画像によっては高度な機能が必要になることもある。このような場合にはペイントソフトと、アドビの「ImageReady」のような画像をホームページ用に最適化するソフトを組み合わせるという方法もある。逆に、

1



マイクロソフトのPhotoDraw 2000の画面。メニューの項目に使用例のアイコンが付いていて、効果の意味が直感的に分かりやすい。

これまでペイントソフトを使ったことがないのなら、ユーリードシステムの「PhotoImpact 4.2」、マイクログラフィックスの「Picture Publisher 8」など、ある程度の描画機能を持っていてゼロから画像が作成できるソフトを選んだほうがよいだろう(2)。

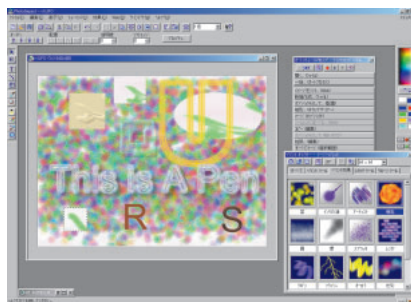
凝ったデザインの図版や文字を作るか

デジタルカメラから取り込んだ画像と文字や図版を合成するといった、ちょっと凝ったことをしたいなら、図版や文字を1つの部品として扱える(これを「オブジェクト化ビットマップ方式」という)ソフトを選ぼう。マクロメディアの「FireWorks」やアドビの「ImageStyler」は、背景となる画像の上に文字や図版を置くと、その文字や図版に対してのみ特殊効果を適用できたり、いつでも形や位置を変えたりできる(3)。

センスの良い絵やJavaScriptは書けるか

JavaScriptを使ったマウサーソルを上に乗ねると何らかのアクションを起こすようなボ

2



ユーリードシステムのPhotoImpact 4.2の画面。文字や図版に加えらる効果も豊富だ。

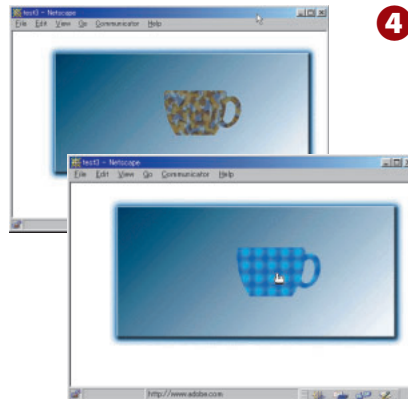
タンを作りたいと思っている人は多いだろう。でも、ボタンの絵は描けないし、JavaScriptも書けないというなら、これらを自動的に作成してくれるソフトを選ぼう。ユーリードシステムの「PhotoImpact 4.2」やアドビの「ImageReady」などは「ベベル」(画像が浮きだしたように見える効果)やドロップシャドウ(影を付ける効果)、グロー(文字や図版の周りに光っている表現を付ける効果)といったインパクトのある効果を、文字や図版に簡単に加えられる。また、マクロメディアの「FireWorks」はJavaScriptのロールオーバー機能(マウスの位置を検出して、ボタンの表現を変える機能)のスク립トを自動的に作成してくれる(4)。

3



マクロメディアのFireWorksの画面。写真の上に文字を重ねて、効果を付けたところ。この状態からでも、文字の変更や効果の変更が自由に行える。

4



マクロメディアのFireWorksで作ったボタン。マウサーソルをボタンの上に乗ねると、青い絵に変わる。



ホームページ用画像作成ソフト機能一覧表

製品名	Macromedia Fireworks	Adobe ImageStyler	Microsoft PhotoDraw 2000	Adobe ImageReady	PhotoImpact 4.2 キャンペーン版	プレスト! フォトパーフェクト	PicturePublisher 8	
メーカー名	マクロメディア㈱	アドビシステムズ㈱	マイクロソフト㈱	アドビシステムズ㈱	ユーリード システムズ㈱	メガソフト㈱	マイクロ グラフィックス㈱	
問い合わせ先	03-5351-8652 (アスキー) 092-752-5264 (システムソフト)	03-5423-1860	03-5454-8100	03-5423-1860	03-5491-5661	06-386-2072	03-5379-3132	
定価	39,800円	23,800円	19,800円	39,800円	19,800円	13,800円	35,000円	
実勢価格	35,800円	-	-	28,660円	11,100円	10,350円	26,250円	
対応プラットフォーム	Win/Mac	Win/Mac	Win	Win/Mac	Win	Win	Win	
Windows	対応OS	95/NT4.0	95/98/NT4.0	95/NT4.0	95/98/NT4.0	95/98/NT4.0	95/NT4.0	
	必要メモリー	32Mバイト	32Mバイト	24Mバイト	16Mバイト	16Mバイト	16Mバイト	
	必要HDD	60Mバイト	40Mバイト	190Mバイト	40Mバイト	150Mバイト	72Mバイト	
	必要CPU	Pentium120MHz	Pentium	Pentium133MHz	Pentium	Pentium75MHz	Pentium75MHz	
Macintosh	対応OS	漢字Talk7.5.5以上	漢字Talk7.5.5以上	-	漢字Talk7.5.5以上	-	-	
	必要メモリー	24Mバイト	32Mバイト	-	16Mバイト	-	-	
	必要HDD	60Mバイト	40Mバイト	-	40Mバイト	-	-	
	必要CPU	PowerPC604/120	PowerPC	-	PowerPC	-	-	
対応フォーマット	GIFファイル	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	
	JPEGファイル	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	
	PNGファイル	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	読/書	
	TIFFファイル	読/書	読	読/書	読/書	読/書	読/書	
	BMPファイル	読/書(Win)	読(Win)	読/書	読/書(Win)	読/書	読/書	
	PICTファイル	読/書(Mac)	読(Mac)	読/書	Mac版のみ	読	読/書	
ウェブ最適化	スライス画像の作成	手動分割	自動分割	x	手動分割	x	x	
	タイル画像の作成	x	x	x		x		
	パレットの最適化			x				
アクション	GIFアニメーション の作成		x	x				
	クリックابلマップ の作成			x		x	x	
	JavaScriptの ロールオーバー機能			x	x	x	x	
	HTML生成機能	x	x	BODY/IMGタグ	カラー値 画像	BODY/IMGタグ	x	ページデータ
	テキストチャ ー							
	フォント編集		x		x	x		
	グロー効果				x	x		
	ドロップシャドウ効果				x			
	ベベル効果				x			
	エンボス効果				x			
文字関連	文字のパス整列	x		x	x		x	
その他の機能	バッチ処理		x	x	マクロ	マクロ	マクロ	
	プラグイン (フォトショップ 互換フィルター)		x					
	オブジェクト化 ビットマップ編集					(選択中)		
	付属クリップアート							
	画像管理機能	x	x					
URL	http://www. macromedia.com/ jp/software/ fireworks/	http://www. adobe.co.jp/ product/ imagestyler/	http://www. microsoft.com/ japan/Office/ PhotoDraw/	http://www. adobe.co.jp/ product/ imageready/	http://www. ulead.co.jp/pi/ runme.htm	http://www. megasoft.co.jp/ products/presto/ perfect.html	http://www. micrografx.co.jp/ picturepublisher8/	



最新ホームページ用 画像作成ソフトラインアップ

これまで解説してきたとおり、ホームページ用画像作成ソフトはそれぞれに特徴的な機能を持っていて、どのようなホームページなのかによっても選ぶ製品が変わってくる。ここで紹介する専用ソフトの機能をしっかりとチェックして、自分のホームページにぴったり合ったものを選び出してほしい。

これ1本で総合的な画像の作成環境を提供する



Macromedia FireWorks

対応OS : 【Win】Win95/NT4.0
 【Mac】漢字Talk 7.5.5以上

価格 : 39,800円

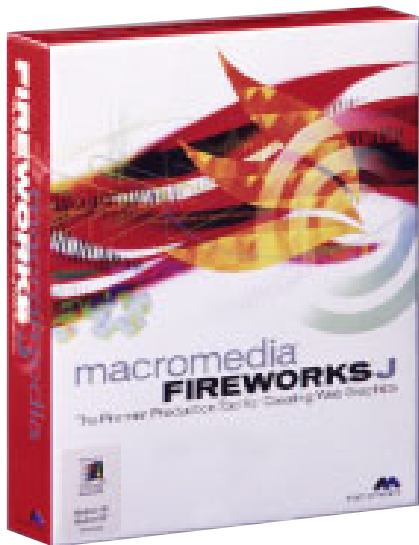
メーカー : マクロメディア(株)

問い合わせ先 : 03-5351-8652(アスキー)
 092-752-5264(システムソフト)

URL : <http://www.macromedia.com/jp/software/fireworks/>

CD-ROM収録先 : 【Win版】CD-ROM【A】 Trial Win Fireworks
 【Mac版】CD-ROM【A】 Trial Mac FireWorks

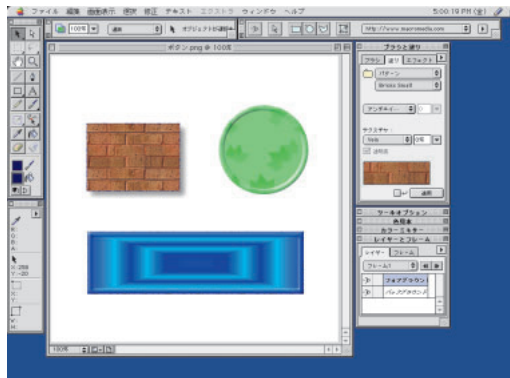
ほかにも、JavaScriptのロールオーバー機能やクリックブルマップの作成、GIFアニメーションの作成、画像を分割して配置のためのHTMLも自動で作成する「スライス」などの豊富な機能を持つ。



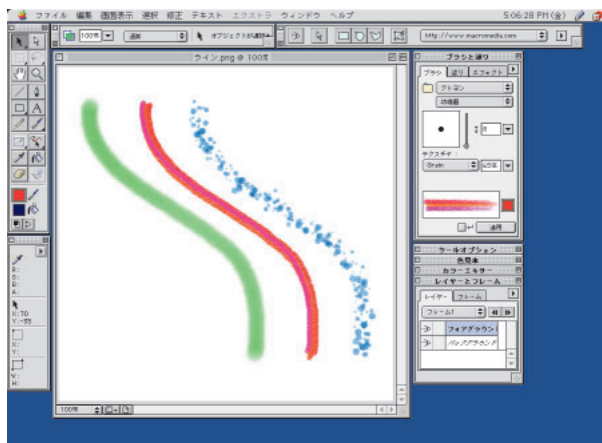
このため、画像の作成機能には画像をドット単位で修正できる「イメージ編集モード」と、文字や図版を「部品」のように扱って自由に配置したり変形したりできる「オブジェクトモード」の2つのモードを持つ。描画できる部品は四角や円などの単純な形だけでなく、マウスで自由に描くことができ、それを各種のペンツールでなぞるような表現も可能だ。たとえば、筆やクレヨンで線を引いたような図版が描けるのだ。

オブジェクトモードでは個々の部品に対して盛り上がったように見える「ベベル」や、影を付ける「ドロップシャドウ」といった効果を加えることができ、立体感のある図版や文字が描ける。イメージ編集モードでもペンツールの種類を指定して図版を描いたり、フィルターによる効果を加えたりできる。また、これらの操作を選択した範囲内に限定できるなど、基本的な画像編集ツールとしての機能も充実している。

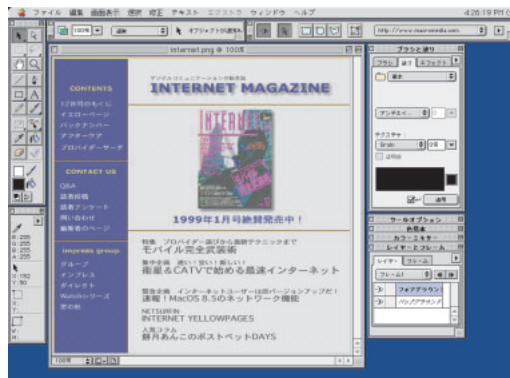
マクロメディアの「FireWorks」はこれ1本でホームページ用画像の総合的な作成環境を提供している。つまり、ほかのソフトと併用して作成された画像を加工するのではなく、このFireWorksだけで作成から最終形態への変換までをこなすソフトなのだ。



ドロップシャドウやグロー、エンボスといった効果を加えるだけで、画面のようなボタンが簡単に作成できる。



マウスでなぞった線に沿って油絵や水彩画のような効果が加えられる。また、線は、あとから自由に変形できる。



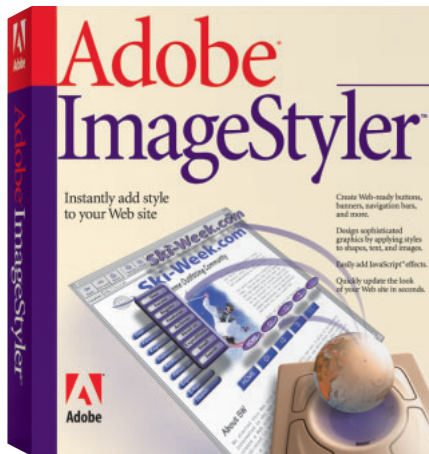
画像の分割を指定した画面。分割の範囲はユーザーが画像に応じて細かく指定できるため、最適な配分ができる。

Product Showcase



数ステップで最適化された画像が作れる

Adobe ImageStyler



アドビシステムの「ImageStyler」は個人ホームページユーザー向けのホームページ用画像作成ソフトだ。同社にはあとで紹介するプロのウェブデザイナー向けの「Image Ready」という別の専用ソフトがあり、ここで紹介するImageStylerはどちらかというと個人ホームページユーザーなどを対象にしている。ImageStylerもマクロメディアのFireWorksと同様に、これ1本ですべての作業をこなせるように作られたソフトだ。

個人ホームページユーザー向けといっても、機能が省略されているわけではない。機能は高いままで、なるべく作業を簡単にすることを

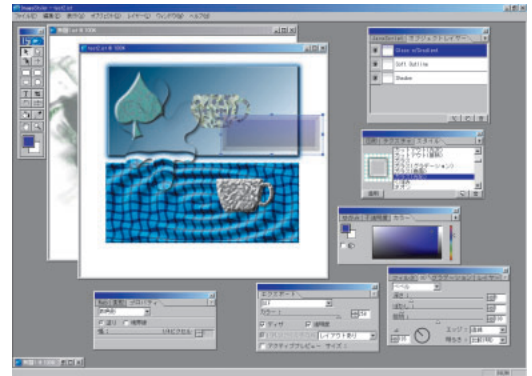
主眼としているのだ。たとえば、画像を分割するスライス機能では分割は自動的に行われ、ユーザーがどのように分割するかを指定する必要はない。また、文字や図版に効果を加えるのも、「スタイル」パレットから好きな効果を選ぶだけでよい。非常に簡単だ。

このほかに、クリックブルマップの作成やJavaScriptのロールオーバー機能などを備えているが、GIFアニメーション作成の機能はないため、これについては別のツールを用意する必要がある。

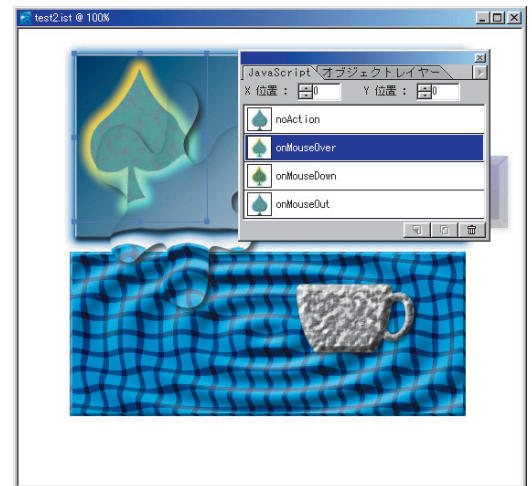
画像の作成では文字や図版を「部品」として扱い、変形させたり、効果を加えたりして完成させる。このため、ペイントソフトのような機能はなく、全体としては、線画を描くドローイングソフトのような感じだ。

特徴的な機能ではHTMLファイル内にある<H1>から<H6>の見出しタグの部分に画像に置き換えることができる。同じデザインのページが何ページもある場合などに、便利な機能だろう。

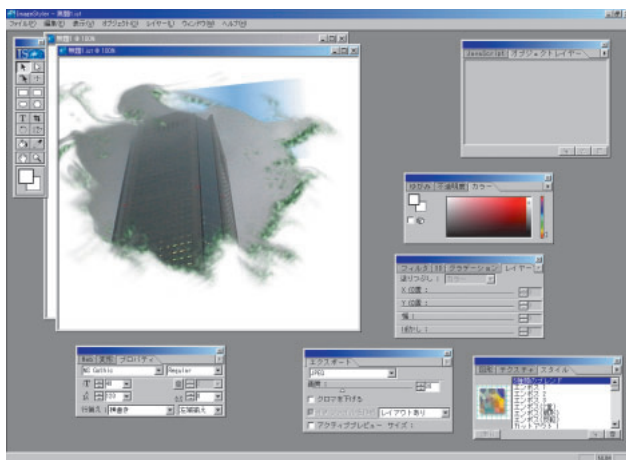
対応OS : [Win] Win95/98/NT4.0
 [Mac] 漢字Talk7.5.5以上
 価格 : 23,800円
 メーカー : アドビシステムズ(株)
 問い合わせ先 : 03-5423-1860
 URL : <http://www.adobe.co.jp/product/imagestyler/>



ImageStylerは画像にさまざまな効果を加えられる。中央にある長方形のボタンは、すでに登録されている効果を「スタイル」パレットから選択して色を指定したもの。効果としては立体感を付ける「ベベル」効果に、透明度を指定して背景が透けてみえるようにしたものだ。このような複数の効果をスタイルを使うことで同時に指定できる。



JavaScriptのロールオーバー機能によるボタンの作成はボタンになる画像に通常の状態、マウスカーソルが上に来たとき、クリックされたときなどの各状態に対応した画像を指定するだけでよい。画像を保存すれば、自動的に必要なHTMLファイルを作成してくれる。



ImageStylerのほとんどの機能はパレットから指定するだけで操作できる。画面はデジタルカメラから取り込んだ画像の上に、ImageStylerが持っている「ボタン」(これはインクが水の上に広がるときの模様)を組み合わせて作ったもの。



視覚的に判断して機能を選べる

Microsoft PhotoDraw 2000

対応OS : [Win]Win95/98/NT4.0
 価格 : 19,800円
 メーカー : マイクロソフト(株)
 問い合わせ先 : 03-5454-8100
 URL : <http://www.microsoft.com/japan/Office/PhotoDraw/>



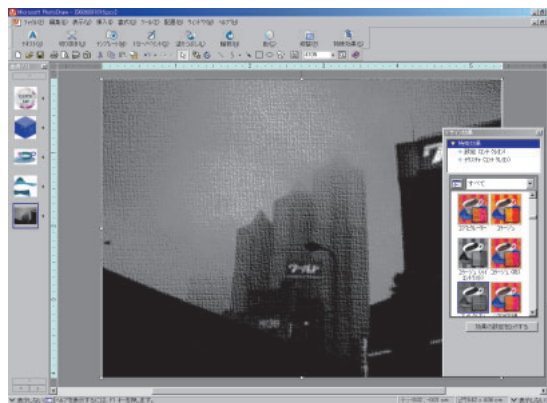
に近い機能を持つものだ。PhotoDraw 2000には、「ドロー」、「ペイント」、「図形」の3つの描画方法があり、ペイントがマウスによる自由曲線を描く機能で、ドローが自由形状の閉曲線を描く機能、図形はあらかじめセットされている閉曲線や直線(オートシェイプ)を描く機能になる。

用意されたテンプレートや特殊効果を使って、簡単にホームページで使うボタンやタイトルロゴの作成ができる。また、デジタルカメラで撮影した画像やほかのペイントソフトで作成した画像にさまざまな効果を加えることもできる。これらの操作は作業ウィンドウに表示される使用例が付いた選択項目を選ぶだけでよく、はじめてPhotoDraw 2000を使うユーザーでも、視覚的に判断して扱えるようになっている。

おもしろい機能ではホームページ用に、96ドット×96ドットのサムネイル(縮小)画像をワンタッチで作成する機能や、ファイルを保存する際に、ホームページ用やOffice文書用と

いった用途を選ぶだけで、自動的に最適な設定してくれる機能がある。

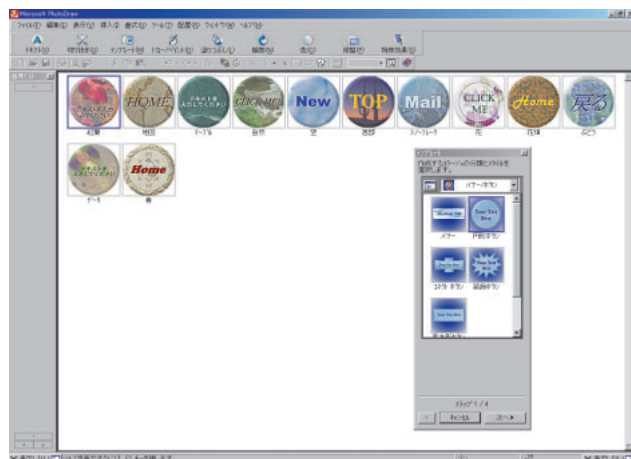
また、20000点以上のクリップアートと、300点以上のテンプレートが付属しているのも特徴だ。テンプレートにはボタンなどの形やパースカードなどのレイアウトを含むものがあり、これにデジタルカメラなどから取り込んだ写真画像を組み合わせて、画像を作成することもできる。



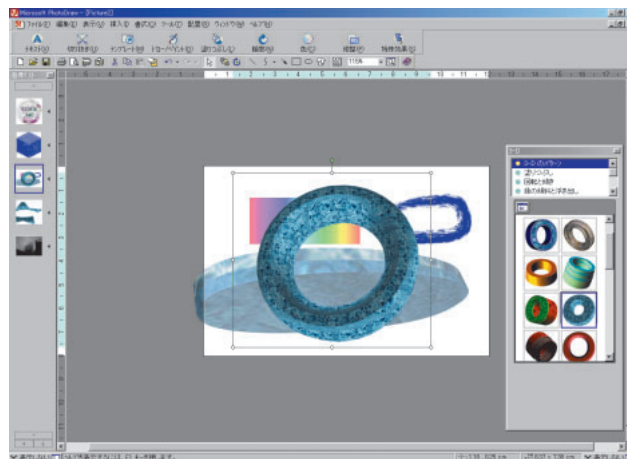
PhotoDraw 2000では機能に応じた選択項目が作業ウィンドウに表示され、ここから効果を選ぶ。それぞれの効果には使用例が付いているので、ユーザーが思った通りの効果が得られる。

Product Showcase

オフィスシリーズには各アプリケーションに線画を描くための「オートシェイプ」という機能があり、また、これとは別に画像修正ソフトである「PhotoEditor」が付属していた。これはどちらかというとデジタルカメラなどで撮影した画像の処理用で、描画機能などは持っていない。この「PhotoDraw 2000」は文字や図版、画像などを部品として扱うタイプの描画ソフトで、ほかのオフィス同様にオートシェイプ機能もある。その意味では、線画を描くソフト



PhotoDraw 2000は形状とイメージを組み合わせたテンプレートを使って、新しい画像を作成できる。ホームページ用のボタンやナビゲーションバー以外に、カードやラベルなどのデザインも用意されている。

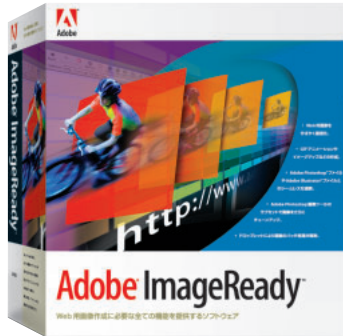


オートシェイプに3D効果を加えると、簡単に立体的な画像が作成できる。3D効果も作業ウィンドウから使用例を見て、効果を選ぶだけでよい。もちろん、あとから傾きや回転などを変更することもできる。



ホームページ用に最適化された画像を作成する

Adobe ImageReady

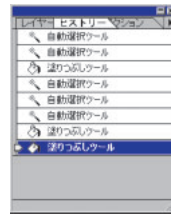


アドビシステムズの「ImageReady」は最終的なホームページ用の画像を作成するためのソフトだ。同社にはこのほかにImage Stylerというソフトがあるが、こちらが1つのソフトでほとんどの作業をカバーするというスタンスなのに対して、このImageReadyはPhotoShopやIllustratorといったほかの描画ソフトで作成した画像をホームページ用に交換す

ることを目的としている。このことはインターフェイスにも表れていて、ImageReadyのインターフェイスはPhotoShopやIllustratorと見間違えそうなくらいそっくりだ。また、画像に効果を加えるPhotoShopのフィルター機能と同じ機能を持ち、PhotoShop用のプラグインフィルターをそのままImageReadyで使うこともできる。

画像の描画機能はもちろん持っているが、使い方としては、ほかの描画ツールで作った画像やデジタルカメラから取り込んだ画像を配置

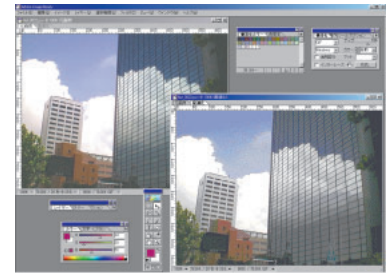
ImageReadyでは、すべての操作が履歴としてツールボックスに順次表示され、いつでも前の操作の段階へ戻ることができる。試行錯誤の多い修正処理には便利な機能だ。



対応OS	: 【Win】Win95/NT4.0 【Mac】漢字Talk7.5.5以上
価格	: 39,800円
メーカー	: アドビシステムズ(株)
問い合わせ先	: 03-5423-1860
URL	: http://www.adobe.co.jp/product/imageready/
CD-ROM収録先	: 【Win版】CD-ROM【A】 Trial Win Imagerdy 【Mac版】CD-ROM【A】 Trial Mac Imagerdy



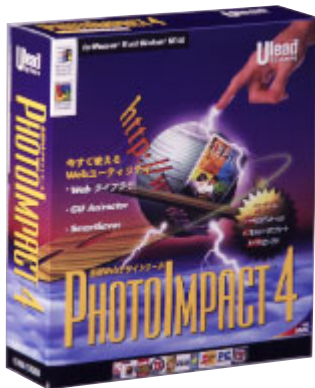
して、フィルターなどで効果を加える。そして、ImageReadyの画像をホームページ用に最適化する機能を使って、最終的にGIFファイルやJPEGファイルにするという作業になる。



ImageReadyではGIFファイルやJPEGファイルにしたときの設定値(圧縮率や色数など)を簡単にプレビューできる。最終的な画像を見ながら設定できるため、品質とファイルサイズのバランスをとりやすい。

豊富な効果を活用してインパクトのある画像を作成する

PhotoImpact 4.2



ユーリードシステムズの「PhotoImpact 4.2」は高機能な描画ソフトにホームページ用の画像を作成する支援機能を追加したものだ。

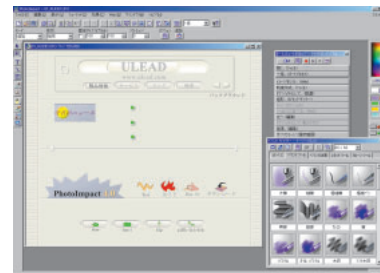
PhotoImpact 4.2の特徴はGIFアニメーション作成ツールの「GIF Animator」、画像管理ツールの「PhotoImpact Album」、Javaボ

タン作成ツールの「ボタンアプレット」、ホームページ用に画像を最適化する「SmartSaver」など、たくさんの便利なツールがバンドルされていることだろう。

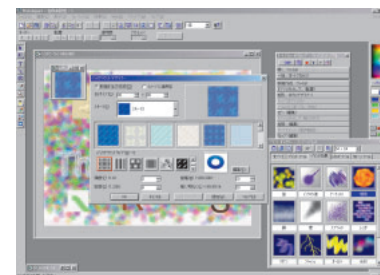
また、42種類のホームページ用のデザインをテンプレートとして持っていて、このテンプレートの中から基本的なデザインを選んで、テキストなどを追加していくだけで簡単にホームページを作成できる機能もある。

GIFアニメーションやクリップアートなどもたくさん付属しているし、使用例が付いたパレットから加えたい効果の項目を選ぶだけでさまざまな画像を作成することができる。絵を描くのが苦手な人におすすめしたいソフトだ。

対応OS	: Win95/98/NT4.0
価格	: 19,800円
メーカー	: ユーリードシステムズ(株)
問い合わせ先	: 03-5491-5661
URL	: http://www.ulead.co.jp/newweb/pi/runme.htm



PhotoImpact 4.2はホームページの基本デザインをテンプレートとして持っていて、それらを読み込んで加工するだけで、ホームページが作成できる。



ホームページの背景などに使うパターン画像を作成する「バックグラウンドデザイナー」あらかじめ用意されたパターンのほか、描画したイメージをパターン画像にすることも可能だ。



写真ライブラリーがワンタッチで作れる

プレスト! フォトパーフェクト



メガソフトの「プレスト! フォトパーフェクト」は名前からも分かるようにデジタルカメラなどから取り込んだ画像ファイルを編集したり整理したりすることを主な目的としたソフトで、それにホームページ用の画像を作成する機能が追加されている。

プレスト! フォトパーフェクトのパッケージには「プレスト! フォトアルバム」、「プレスト! フォ

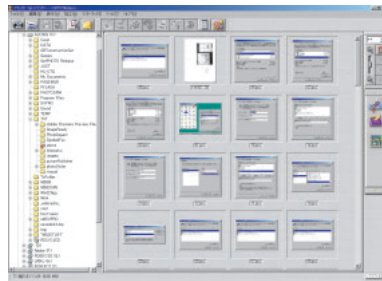
トバインダー」、「プレスト! フォトデザイナー」の3つのソフトが含まれており、それぞれ、画像アルバム、画像管理、画像修正の機能が備わっている(これらは単体のパッケージとしても販売されている)。

ホームページ用の画像を作成する機能としてはフォトデザイナーにボタンやタイトルロゴ

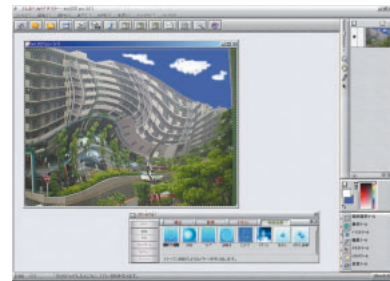
対応OS : Win95/98/NT4.0
価格 : 13,800円
メーカー : メガソフト(株)
問い合わせ先 : 06-386-2072
URL : <http://www.megasoft.co.jp/products/presto/perfect.html>

を作成する機能があり、PhotoShopのプラグインにも対応している。

また、フォトバインダーにはデジタルカメラなどから取り込んだ多数の画像をまとめて処理できるマクロ機能などもあり、ホームページ上で写真ライブラリーのようなものを作成するなら便利な機能なソフトだ。



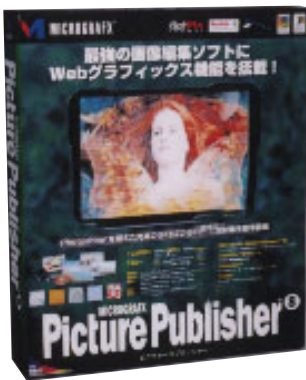
画像管理ソフト「プレスト! フォトバインダー」。フォルダー内にある画像を一覧できるほか、インデックス付きのホームページを簡単に作れる機能を持つ。



「プレスト! フォトデザイナー」のスマートパッドはさまざまな機能が登録しており、ワンタッチで作業できる。

手の込んだ効果を加えられる

PicturePublisher 8



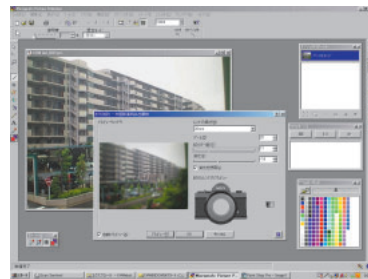
「PicturePublisher 8」は古くからウィンドウズ用のグラフィックソフトを手がけているマイクログラフィックスの高性能描画ソフトだ。

このPicture Publisher 8は画像に対して加えられる効果が豊富なのが特徴だ。たとえば、カメラで撮影したときに生じるようなフ

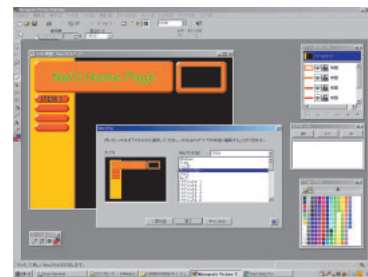
レア(レンズに光が当たることで生じる模様)の効果や、「被写体深度効果」といった実際にカメラで撮影したかのような演出を加えられるなど、手の込んだ加工が簡単にできる。

ほかにも、ウィザードを使ったホームページ作成機能や立体的なタイトルロゴやボタンの作成する機能、GIFアニメーションやクリックブルマップを作成する機能、元画像と比較しながら圧縮効果やファイルサイズを確認できる「HTMLプレビュー」機能など、PicturePublisher 8だけで凝ったホームページが作れてしまうだけの機能がぎっしり詰まっている。

対応OS : Win95/NT4.0
価格 : 35,000円
メーカー : マイクログラフィックス(株)
問い合わせ先 : 03-5379-3132
URL : <http://www.micrografx.co.jp/picturepublisher8/>



Picture Publisher 8では画像にカメラで撮影したような効果を加えることができる。たとえば、標準レンズで撮影した写真を望遠や広角レンズで撮影したかのように見える効果が加えられる。



Picture Publisher 8にはあらかじめ用意されたホームページのテンプレートがあり、ウィザード形式でそれらを選んだり文字を入力したりしていくだけで、ホームページを短時間で作成できる。

1つの機能に特化した 専用ツールも見逃せない!

- タイトルロゴ作成ツール&画像圧縮ツール -

ホームページ用の画像を作るのに、1つの機能に特化した専用のツールを駆使するというのも1つの方法だ。特に、時間的な制約の少ないユーザーなら、手持ちのペイントソフトに、立体的なロゴやボタンを作成するツールのようなちょっとした専用ツールを加えて、画像を作成するといったやり方もいいだろう。

1つの機能に特化した専用ツールの中にはほかのどんなソフトにもない特徴的な機能を持つものがあり、ソフトを使い分けるといった手間はあるものの、さまざまな機能を統合したホームページ専用の画像作成ソフトよりも強力な機能を利用できることもある。というのも、中途半端な機能を独立したツールにしても、総合的な機能を提供するオールインワンのパッケージ製品とは勝負にならないからだ。

たとえば、メッツの「G.CREW6」はタイトルロゴを簡単に作成するソフトだ。あらかじめ用意されているテンプレートを選ぶだけで立体的な文字が作成できるし、光のあたる方向や距離といったことまで、細かく、しかも直感的に設定できる。また、文字に“木目”や“水”などのテクスチャーを張ることも可能だ。もちろん、ホームページ専用の画像

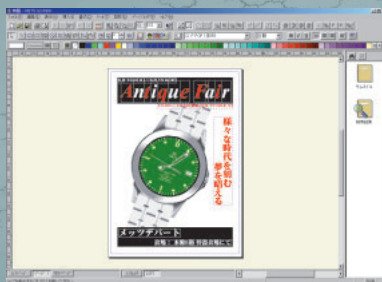
作成ソフトのほとんどにタイトルロゴを作成する機能は付いているが、ここまで簡単に、しかも、分かりやすく作成できるものはないだろう。G.CREW6は、特にホームページ用というわけでないが、GIFファイルとJPEGファイルで保存できるので問題ない。また、G.CREW6にはフォトタッチソフトの定番「PaintShopPro4.2J」のライト版や画像管理ソフトなども付属している。これだけの機能が付いていれば、ホームページ用の画像は十分に作成できるだろう。

次に紹介するThe Windmillの「Black Magic」はデジタルカメラから取り込んだ画像や入力した文字にさまざまな効果を加えられるグラフィックソフトだ。加えられる効果は、文字を立体化する「エンボス」や影を付ける「ギャラクシィ」、アウトラインだけ光らせる「ネオン」など、40種類以上の機能を持っている。しかも、これらの効果は自由に組み合わせることができるので、アイデア次第で何百種類もの効果が得られるのだ。また、設定を保存しておくことができるので、いつでも同様の効果を加えられる。使い方も簡単で、マウスの操作だけでほとんどの機能が使えるのだ。

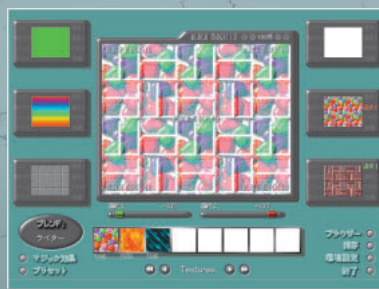
最後に紹介するのはGEOの「Emblaze Web Charger」と「Emblaze HotSpots」だ。WebChargerはホームページ用の画像圧縮ツールだ。特徴的なのは1枚の画像の中で、きれいに見せたいエリアとそうでないエリアを異なる圧縮率で圧縮できるということだ。たとえば、子供のポートレートをホームページに載せるとき、顔の部分は圧縮率を低くして、ほかの部分は圧縮率を高くするということができる。これにより、子どもの顔の部分だけはキレイに表示される。効率よくファイルサイズを小さくできるのだ。

これまで紹介してきたように、1つの機能に特化したツールには専用ソフトにない便利な機能を持ったものが数多くある。もし、すでにペイントソフトを持っているのなら、ここで紹介したようなタイトルロゴ作成ツールや画像圧縮ツールなどと組み合わせるという方法もあるだろう。

結局のところ、ホームページをどのように作るのか、どのようなデザインにするのかで、おのずとどのソフトを買うのかが決まってくるだろう。この点を理解して、自分に合った専用ソフトあるいはソフトの組み合わせを考えてみてほしい。



G.CREW6
 価格 : 6,980円(ガイドブック付きは8,980円)
 メーカー名 : 梅メッツ
 問い合わせ先 : 03-5485-4042
 URL : http://www.metscorp.co.jp/products/gc6_01.html



Black Magic
 価格 : 5,800円(通販)
 メーカー名 : The Windmill
 問い合わせ先 : bv5j-jnss@asahi-net.or.jp
 URL : <http://www.mmjp.or.jp/windmill/>
 CD-ROM収録先 : CD-ROM[A] Trial_Win_Blackmgc



Emblaze WebCharger
 価格 : 14,800円
 メーカー名 : GEO
 問い合わせ先 : embsup@tomen-ele.co.jp
 URL : <http://www.jp.emblaze.com/webcharger.htm>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp